

令和7年度小松市立第一小学校 学校評価 1 (計画)

めざす児童生徒像

- 思いや考えを持ち、伝えることのできる子
- 友だちのよさを見つけることのできる子
- 互いに高め合うことのできる子

※児童生徒結果－教員結果・保護者結果

目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	数値・アンケート結果 (%)			※差	達成状況の分析	改善策
				教員	児童生徒	保護者			
(学校重点項目)	自己肯定感の向上	①②において90%以上	① 教師は、児童のよさを認め、引き出す声掛けをしている。						
			② 教師と児童とが互いに信頼し温かい関係ができています。						
			③ キャリアパスポートを活用し、学びや成長を実感できるようにする。						
			集計						
重点項目	働き方改革 業務の改善	①②において90%以上	① 80時間越えゼロに向け、時間外勤務の削減に取り組んでいる。						
			② 学校組織の中で自分の役割が明確であり、創意工夫しながら取り組むことができています。						
			③ 校務DX化など効率的な業務の進め方を工夫している。						
			集計						

目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	数値・アンケート結果 (%)			※差	達成状況の分析	改善策	
				教員	児童生徒	保護者				
小松市共通重点項目	学校研究	①②③において90%以上	① 研究主題に迫る目指す授業スタイルを共有し、単元(授業)構想シートなどの具体的な取組を共通実践している。							
			② 授業研究では、教職員一人一人が子供の姿を語ったり、改善案を示したりするなど主体的に取り組んでいる。							
			③ 児童のつまづきを予想し、そのための手立てを考えた授業実践に取り組んでいる。							
			集計							
	指導力の向上	「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善	①②⑦において児童教師共に85%以上	① 児童生徒は、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。						
				② 児童生徒は、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。						
				③ 児童生徒は、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。						
				④ 児童生徒は、話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考え(自分と同じところや違うところ)を受け止めて自分の考えを伝えている。						
				⑤ 児童生徒は、振り返る活動の中で、授業の目標に沿って自分の学びの変容を実感したり、学びに対する達成感を得られたりしている。						
				⑥ 児童生徒は、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために使用している。						
				⑦ 児童は、図や式、言葉を関連付けて説明したり、問題解決したりしている。						
	学力の向上	カリキュラム・マネジメント	②③において90%以上	① 指導計画の作成に当たっては、学校の教育目標の実現に向け、各教科等の教育内容を教科横断的な視点で組み立てている。						
② 児童生徒や学校、地域の実態を捉えて教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している。										
③ 全職員が学力向上の取組の目的や意義を理解し、課題の解決を期待できると納得して共通実践に取り組んでいる。										
④ 校区の小・中学校間で学力について情報交換し、課題について共有している。(小中連携)										
学習方法		①において90%以上	① 児童生徒が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行っている。							
			② 児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を活用している。							
			集計							